

浸水域

(単位：ha)

市町名	浸水深				
	1 cm以上	30cm以上	1 m以上	2 m以上	5 m以上
広島市	200	110	60	*	*
呉市	250	170	90	40	-
竹原市	20	10	10	*	-
三原市	130	90	50	30	*
尾道市	80	60	30	10	-
福山市	60	50	30	10	-
大竹市	10	*	*	*	-
東広島市	20	20	10	*	-
廿日市市	50	50	30	10	-
江田島市	100	80	50	30	-
府中町	20	*	*	*	-
海田町	30	10	*	*	-
坂町	50	30	*	*	-
大崎上島町	40	40	30	10	-

※「*」は10ha未満。

南海トラフ巨大地震

～津波高・浸水域及び被害想定が公表されました～

問い合わせ 総務課 ☎2119

平成24年8月29日に内閣府から南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等(第二次報告)及び被害想定(第一次報告)が公表されました。今回の発表では、南海トラフ巨大地震発生時に全国で32万人、広島県で8000人死亡するなど、県による前回(平成19年3月)想定を大きく上回るものとなりました。

今回の想定における注意点

今回の想定は、平成23年に発生した東北地方太平洋沖地震で得られたデータを含めた現時点の最新の科学的知見に基づいて、発生し得る最大クラスの地震・津波を推計したもので、現在のデータの集積状況や研究レベルでは、その発生時期を予測することはできません。しかし、南海トラフ巨大地震の発生頻度は極めて低いものであって、南海トラフにおいて次に発生する地震・津波である、というものではありません。

被害を軽減するために

この被害想定には、建物の耐震化や家具等の転倒・落下防止、ブロック塀・自動販売機の転倒防止などの事前でできる防災対策の実施。そして、災害発生後ただちに全員が避難を開始するなどの防災対策を見込んだ場合には、最大被害を8割程度軽減できるとの試算も示されています。

このことから、日ごろから、私たち

にできる防災対策を一つひとつ実施していくことで、地震や津波による被害を減らす努力をしていくことが重要と言えます。市では、今回公表されたデータを考慮し、引き続き防災計画などの見直しをはじめ、各種防災対策に取り組んでいきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願います。

なお、現在広島県において地震・津波等の被害想定の見直しを実施しており、平成25年3月末までに、より詳細な想定が行われる予定です。

※ 津波の高さとは

大竹市の津波高は、今回の想定で4mとなっております。この値は、東京湾の平均潮位を基準として示されたものであり、実際の津波高は、朔望平均満潮位(各月の最高満潮位面の平均値)を加味し、最大で海面上2・3m程度となります。

津波の高さ(※)

(単位：m)

市町名	津波の高さ
広島市	4
呉市	4
竹原市	4
三原市	3
尾道市	4
福山市	4
大竹市	4
東広島市	4
廿日市市	4
江田島市	4
海田町	4
坂町	4
大崎上島町	4

震度分布

震度	震度5強	震度6弱	震度6強
市町名	<ul style="list-style-type: none"> 三次市 安芸高田市 熊野町 世羅町 神石高原町 庄原市 安芸太田町 北広島町 	<ul style="list-style-type: none"> 広島市 呉市 東広島市 廿日市市 江田島市 坂町 府中町 海田町 大崎上島町 府中市 	<ul style="list-style-type: none"> 竹原市 三原市 尾道市 福山市 大竹市

人的被害(死者数・広島県)

(単位：人)

建物被害(全壊・広島県)

(単位：棟)

建物崩壊	約700
津波	約60
急傾斜地崩壊	約20
火災	-
ブロック塀の倒壊等	-
合計	約800

※四捨五入の関係で合計は合わない。

揺れ	約11,000
液状化	約12,000
津波	約200
急傾斜地崩壊	約300
火災	約1,100
合計	約24,000

※四捨五入の関係で合計は合わない。

被害想定

建物被害では、全壊が約24,000件、人的被害では死者数が約8,000人となっております。(広島県全体)



ロープを持つての避難行動



消防団による要援護者避難訓練

自主防災組織による避難訓練

問い合わせ 総務課 ☎2119

9月15日、玖波七丁目地区において、自主防災組織による避難訓練が実施されました。

この訓練は、震度6の大地震が発生したことを想定し、地元消防団の協力のもとに、災害時要援護者の避難支援も行われました。